資料３

骨子案からの主な加筆・修正点

素案（第３回策定委員会時点）	骨子案（第２回策定委員会時点）
基本方針（案） コンセプト（案） 生涯にわたって誰もが気軽に健康・体力づくりに親しむことができ，子どもたちの豊かな学びを促進する，地域と学校のスポーツ活動の拠点 本施設は，スポーツ施設である体育館と学校施設である屋内プールの複合施設として学校敷地内に整備することから，年齢や障害の有無に関わらず，誰もが健康・体力づくりに親しむことができるとともに，子どもたちの学習環境向上に寄与し，豊かな学びを促進する，地域と学校のスポーツ活動の拠点として整備します。	基本方針（たたき台） コンセプト（案） 生涯にわたって誰もが気軽にスポーツや運動を楽しむことができる地域のスポーツ拠点
施設整備の基本方針（案） １　地域のスポーツ拠点としての機能の充実 ○ 機能移転後も各種スポーツ団体等の活動が継続的に行えるよう，少なくとも現西調布体育館と同様の機能を維持しつつ，円滑な競技面の転換や利用しやすいゾーニングの検討など，地域のスポーツ活動の拠点として利用しやすい施設として整備します。 ○ 地域住民の健康増進に資するよう，学校屋内プールについては，学校の教育活動としての使用時以外の時間は地域へ開放できるよう検討します。 ○ 地域スポーツの振興・発展を目指し，プールの地域開放や，テニスコート及び弓道場といった学校内にある他のスポーツ機能との有機的な連動ができる管理・運用を検討します。	施設整備の基本方針（案） １　地域のスポーツ拠点としての機能の充実 ・各種スポーツ団体等の活動など（大会含む）が行える機能を充実（現行体育館機能の担保，駐車場の確保など） ・テニスコートや弓道場など，学校内にある他のスポーツ機能との連動による地域スポーツの振興・発展　など
２　スポーツ活動の場として機能の充実 ○ 様々な競技を踏まえた体育室の検討や各種設備の充実を図ることで，快適なスポーツ活動が行える施設として整備します。 ○ 現西調布体育館の利用実態を十分に踏まえ，移転後の施設において	２　スポーツ活動の場として機能の充実 ・スポーツを快適に楽しむことができるような機能の充実（設備面での利用しやすさ，競技面積の確保等）など

素案（第３回策定委員会時点）	骨子案（第２回策定委員会時点）
も，実施競技は基本的に現状を引き継ぐものとします。ただし，幅広い市民利用に資するよう，実施競技の拡充についても検討します。	
３　誰もが気軽に健康・体力づくりに取り組める施設の整備 ○ 子どもから大人，高齢者や障害の有無，性別等に関わらず快適に使用できるようユニバーサルデザインやバリアフリーに配慮した施設として整備します。	３　誰もが気軽に健康・体力づくりに取り組める施設の整備 ・ユニバーサルデザインやバリアフリーへの配慮　など
４　世代を超えた交流が図られ，地域コミュニティの活性化に資する施設の整備 ○ 地域にひらかれた施設を目指し，オープンスペースや会議室の設置などを検討します。 ○ 日常のスポーツ活動から大会，イベント等，様々な活動を支える，にぎわいと交流が生まれる施設となるよう検討します。	４　世代を超えた交流が図られ，地域コミュニティの活性化に資する施設の整備 ・オープンスペースの検討，地域にひらかれた施設　など
５　地域社会と学校が連携する学びの場としての施設の整備 ○ 市民利用と学校利用の共存ができるよう，生徒の安全を確保する適切な動線やセキュリティライン，運営方法を検討します。 ○ 学校プールについては，他校が利用する可能性も視野に検討を進めます。	５　地域社会と学校が連携する学びの場としての施設の整備 ・地域と学校が相互に活用できる学びの場としての必要な機能　など
６　防災機能の強化・安全性の確保 ○ 地域防災計画に位置付けられた災害時の役割を踏まえ，必要な防災機能や安全性の確保に取り組みます。	６　防災機能の強化・安全性の向上 ・防災拠点として機能するよう防災性，耐震性に配慮した施設として整備　など
７　環境に配慮した施設の整備 ○ 環境負荷の軽減や省エネルギー化など，地球環境にも配慮します。	７　環境に配慮した施設の整備 ・環境負荷の軽減と省エネルギー化などによる地球環境への配慮　など